

<第 179 回> 平成 26 年 2 月 10 日 (月)

「不思議な力」

～ 頑張っているあなたに届けたい ～

校長 神戸秀巳

成功の可能性 10% に果敢に挑んだあなた。その結果は・・・成功！ そこで問題。どうしてあなたは成功したのでしょうか？それはあなたに〇〇があったから。さらにあなたは別の成功率 10% に挑戦。またまた成功。どうして？〇〇のおかげ？それとも□□のおかげ？ 「私なら成功率 10% では挑戦しない」というあなた。何パーセントなら挑戦する？ そもそも何で挑戦するの？

人により空欄に入る言葉は違うでしょう。「本気」「夢」「やる気」「誠」「信念」「パワー」「実力」そして「運」。「実力」と「運」を除いた全てに共通するのはプラスのエネルギー。

「しょせん」「どうせ」と思って何かをするよりは「ひよっとすると」「もしかすると」と思ってする方が「可能性」が高まります。プラス思考>マイナス思考なんでしょうね。

「本当?!」と思った人には「プラス思考」をインターネットで検索することをお勧めします。「こんなに！」というくらい情報山盛りです。詩人の高村光太郎も『道程』の中で「僕の前に道はない、僕の後ろに道は出来る」と書いています。

試験日まであとわずかしかないとあせっているあなた。「あと〇〇日しかない」と考えるか、「まだ〇〇日残されている」と考えるか。さらに、「〇〇×24時間ある」と考えることができるか。「〇〇×24×60分使える時間がまだ存在する」と考え、最後まで走り抜ける強い決意をもって臨むか。あせり過ぎることで、いわゆる「手につかない」人たちは私はたくさん見てきました。落ち着くことがどれほど重要かを知っています。あなたが落ち着いて目標達成に向かうことを心の底から願っています。

最後に、知り合いからいただいた言葉をあなたにお届けします。

- ・「常に長い人生の先にある目標を見すえていれば、努力も怠惰も余裕も切迫も楽しめるんじゃないかなあ。」(落語家真打ち)
- ・「大学を卒業してから会社勤めもしましたが、夢を追いかけて役者に転身し現在に至ります。みなさん！夢は叶います。追い続ければ必ず叶います。何でもいいから夢を持って生きてください。」(俳優)
- ・「信じることを怖れてはいけない。体も社会的地位も経済力も、大人にまだ勝てない君たちだが、我々大人よりも遥かに勝っているものがある。それは、自分を信じる力と、未来に残された時間、無限に広がる“可能性”だ。それを忘れないでほしい。」(格闘家)

◆平成 20 年に副校長として当時の生徒たちに向けたメッセージを基に、大幅に加筆・修正しました。